

◇教職員の多忙化改善にむけた朝日小学校の取り組み◇

令和4年5月

はじめに

学校現場における教職員の多忙化改善につきましては、平成29年3月に山梨県教育委員会
が策定した「教員の多忙化改善に向けた取組方針」に基づいて取り組みが進められています。
今年度の朝日小学校の取り組みは次のとおりです。

1 目的

教職員が多忙化を解消することで、教職員が児童一人ひとりと向き合う時間を確保し、
児童理解を深め、教育の質を高める。

2 組織

『朝日小学校多忙化改善対策委員会』

- ・校長、教頭、教務主任で構成する。必要に応じて学年主任や担当責任者も参加する。

3 内容

① 会議等の効率化

- ・掲示板や回覧等で「伝達事項」を効率的に確認し、打ち合わせや会議の内容を精選することで会議の時間を短縮します。

② 学校行事の見直し

- ・学校行事の内容や時間、取り組み方などを見直し、より効率的で効果の得られるものにします。

③ 校内組織の見直し

- ・教員に分担されている仕事の状況を見ながら、校内組織の見直しをしたり、複数で協力して対応できるようにしたりして、教員一人にかかる負担を軽減します。

④ 業務の効率化

- ・前年度までの資料や電子データなど共有できるデータを、使いやすいように整理して効果的に活用することで業務を効率化します。
- ・業務の効率化により生み出された時間で、児童に向き合う時間を増やします。
- ・業務の効率化により、退勤時刻を少しでも早くできるようにして、次の日に元気に子どもたちの前に立てるようにします。

⑤ 地域人材の活用

- ・朝日小では、多くの地域の方々との交流活動、教育ボランティアや外部講師などの地域人材にご協力いただき教育活動を進めています。活動をより効率的にするために活動内容を整理し、次年度以降に活用できる資料をつくります。

これ以外にも、「出勤・退勤時刻」の現状から「多忙化解消や業務の効率化への意識改革」を進めるなどの取り組みも行います。教職員の多忙化を少しでも解消し、教職員が児童一人ひとりと向き合う時間を確保し、教育活動をより充実させたいと思います。

